

東京大学医学部にて 2025 年度がんゲノム医療実習後の 学生アンケート調査に参加された方へ

※研究の説明

東京大学医学部附属病院ゲノム診療部では、医学部生を対象とした「がんゲノム医療実習」の教育的効果および課題を評価することを目的として、教育研究を実施しております。本研究では、実習の有用性や学習体験、改善点などを明らかにすることで、今後の医学部教育におけるゲノム医療教育の質向上に役立てることを目的としています。

本研究では、2026 年度に実施するアンケート調査およびインタビュー調査に加え、2025 年度に同実習を受講した学生を対象として実施されたアンケート調査の結果を、年度間比較を目的として解析に利用する予定です。2025 年度のアンケートデータは、研究分担者である学生により個人を特定できないよう匿名化された状態で研究責任者および研究分担者の教員に共有され、研究解析に使用されます。

なお、本研究は東京大学大学院医学系研究科・医学部倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施されます。この研究の対象者に該当する可能性がある方で、アンケート調査及びインタビュー調査の結果等を研究目的に利用または提出されることを希望されない場合は 2026 年 7 月末日までに 末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題】

ゲノム医療実習の教育的効果および課題を評価する前向き観察研究（審査番号 2026111NI）

【研究機関名及び本学の研究責任（代表）者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院ゲノム診療部

研究責任者 特任准教授・渡邊広祐

担当業務 研究計画立案・データ取得・データ解析

【研究目的・意義】

近年、がんの治療では、遺伝子の情報をもとに最適な治療法を選択する「がんゲノム医療」が広く行われるようになってきました。がんゲノム医療では、患者さんのがん細胞にどのような遺伝子の変化があるかを調べる「がん遺伝子パネル検査」を行い、その結果をもとに治療方針を検討します。このような医療を適切に実施するためには、医師が遺伝子検査の結果を理解し、患者さんに分かりやすく説明できる能力を身につけることが重要です。

東京大学医学部附属病院ゲノム診療部では、将来医師となる医学部学生ががんゲノム医療の基礎や実際の診療の流れを学ぶことを目的として、「がんゲノム医療実習」を実施しています。この実習では、遺伝子検査の結果の読み方、ゲノム情報の調べ方、専門家による検討会（エキスパートパネル）の模擬体験、遺伝カウンセリングのロールプレイなどを通じて、実際の医療に近い形で学習する機会を提供しています。

本研究では、この実習を受講した学生を対象にアンケート調査やインタビュー調査を行い、実習によってどのような学びが得られたのか、どのような点が役に立ったのか、また改善すべき課題は何かを明らかにすることを目的としています。これにより、医学部におけるゲノム医療教育をより効果的なものへと改善し、将来の医療を担う医師ががんゲノム医療に適切に対応できるような教育体制の整備に役立てることを目指しています。

【研究期間】

研究期間：実施許可日 ～ （西暦）2028年03月31日

【対象となる方】

2025年1月6日～12月5日までのクリニカルクラークシップ1期でゲノム診療部のがんゲノム医療実習を受講し、受講後に学生による実習評価アンケート調査またはインタビュー調査に回答した方。

【研究の方法】

本研究では、2025年度がんゲノム医療実習を受講した学生を対象として実施された実習評価アンケート調査およびインタビュー調査の回答を研究に利用します。これらの回答は、研究分担者である学生により個人を特定できないよう匿名化された状態で教員に提供されるため、教員が個人情報を取得することはありません。また、アンケートへの回答の有無や回答内容が、成績評価や実習評価に影響することはありません。なお、本研究のために研究対象者の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【個人情報の保護】

この研究のためにご自分の情報を使用してほしくない場合は下記の問い合わせ先に2026年7月末までにご連絡ください。なお、研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合は、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌、国内（及び海外）のデータベース等で公表します。国内外の学術雑誌での公開にあたっては、研究成果の第三者による検証や複数の研究の結果を統合して統計的に検討する際の原資料となることもあるために、解析・論文作成に用いたデータを学術雑誌社・学会（誌）へ提供・公開すること、また保管されることがあります。提供・公開されたデータは国内外にある学術研究機関だけではなく、製薬企業等の民間企業等により、研究や製品開発等のために分析、利用される可能性があります。

取得した情報は厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後

には、データ削除することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

尚、提供いただいた試料・情報の管理の責任者は下記の通りです。

試料・情報の管理責任者

所属：東京大学医学部附属病院ゲノム診療部

氏名：特任准教授・渡邊広祐

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。

この研究に関する費用は、東京大学医学部附属病院ゲノム診療部の運営費から支出されています。

本研究の資金について開示すべき利益相反はございません。

本研究の研究責任者渡邊広祐と研究分担者小川弥穂は社会連携講座次世代プレジジョンメディシン開発講座に所属し GenMine Labs より資金提供を得ておりますが、東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。

尚、あなたへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2026年5月

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：渡邊広祐(わたなべこうすけ)

連絡担当者：小川弥穂(おがわみほ)

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

管理研究棟地下1階第3研究室

東京大学医学部附属病院 ゲノム診療部

電話：03-3815-5411

e-mail：ClinicalGenomics@adm.h.u-tokyo.ac.jp